

碑に刻まれている文は次のとおりです（現在使用の少ない文字のため字体が違うものが一部あります）

大東亞戦争の末期昭和十九年春俄に此の地に陸軍飛行場の設定を決定せられ関係の農民は一途に戦勝を祈って父祖傳來の土地を提供し二百三十餘戸の住家を移轉して同年末東西千米南北千八百米の飛行場を完成した 昭和二十年八月戦終るに及んで政府は農民の熱望に應じて此の地を開拓地とし嘗ての土地提供者並に一部の復員軍人及戦災者を詮衝の上入植させた 入植者四百六十六名は昭和二十一年八月元富士飛行場開拓組合を組織し昭和二十三年九月元富士開拓農業協同組合に改組して國の補助を得協力一致凡ゆる困難に堪え四ヶ郷用水幹線を擴張し地區内道水路橋梁を整備し砂礫と闘い耕土の不足を克服する等鋭意開墾に努めて遂に井然たる耕地を造成することが出来た 此の間富士川堤防の補強排水門の擴張汐除堤防の構築等を併せ行い今日全地域百八十餘町歩内道水路面積二十二町餘耕地百六十三町餘を拓き汐除堤防四百二十間の築造を了り食糧増産の上に大なる貢献を爲し得るに至った 今日此の美田を望み苦難の十年を省みて感慨眞に深いものがある茲に開拓事業十周年を記念して碑を建て梗概を刻んで永くこの事蹟を傳えんとするものである

昭和三十年五月三日 元富士開拓農業協同組合

組合長

齋藤新作